

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 12 月 11 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502686		
法人名	株式会社リーブネット		
事業所名	グループホームかざぐるま		
所在地	〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成609-1 (電話) 084-961-1200		
自己評価作成日	令和3年10月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471502686-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471502686-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年11月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

入居者一人ひとりが役割を持ち、入居者主体の生活が送れるように支援しています。入居者の生活の流れにスタッフが合わせ、献立作成や、買い出し、洗濯の取入れなど家事においては、一連の流れを大切にし、入居者とスタッフが、共同で取り組めるようにしています。いつの時でも、入居者との関わりを大切にし、安心、安全にその人らしい生活が出来るように支援しています。また、家族の面会時等、顔を合わせる関係作りも大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人、事業所の共通した理念である「笑顔」を念頭に、利用者一人ひとりにしっかりと向き合っている。できることや役割、個人の思いに寄り添い活かせることの視点を重視し、利用者本位の支援に尽力している。事業所の大きな特徴として近所のスーパーへ毎日買い物へ行く日常的な外出支援にて、店員とも顔なじみの繋がりができるなど社会生活が感じられる取り組みがある。しかしコロナ禍により実施ができず、家族の面会も難しいことなど利用者のストレスにも影響が見て取れる状況に、その中で何が出来るかを全員で意識し、利用者の役割や活躍に焦点を深め検討している。職員は自分達に何が必要であるかをユニットごとに毎月全員で考え目標を策定し、実践を振り返ることで職員の資質の向上に繋げている。全員が同じ方向性を持った支援を実践にて積み重ね、その人らしい生活の支援を実現している。

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を各ユニットごとに良く見える掲示板に掲げ、朝ミーティングで職員間で意識づけしている。主任会議にて理念をもとに月間目標を決め評価しており、達成に向けての努力が見られる。職員も入居者担当を決めており、目標も立てやすく、研修などで向上心に掲げている。	各ユニット事務所入口に理念を掲示し確認している。家庭を意識した笑顔で暮らせるための実践に努めている。理念を基に各ユニット毎に年間目標、月間目標を策定している。月間目標では今何が必要かを全員で検討し作成しており、毎月振り返り達成度を評価し資質の向上に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	一日に1回近くのスーパーへ入居者と共に、食材の買い出しに出かけている。レジの人とも顔なじみになり、話をする機会ができ、楽しんでいる。地域の小学校の運動会、敬老会などに参加し、地域との関係作りにも取り組んでいる。(今は、コロナ禍のため、できていない。)	コロナ禍であり、地域行事などへの参加は難しい状況下であるが、町内会に加入し地域の清掃活動にも継続して参加をしている。以前では近所のスーパーへ利用者と一緒買い出しに出かけることが日常であり敬老会に参加したり地域ボランティアの訪問もあった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所の案内掲示板を利用し、入居者の方の作品を貼り出したり、各グループの掲示板にも絵や写真などを飾っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1度開催し、民生委員、包括支援センター、保健福祉課の参加がある。行事報告、事故報告、事故対策法感染予防、消防訓練など貴重な意見交換の場になり、改善に向けて取り組まれている。家族の出席は共働きや、高齢世帯が多くなかなか実現できない。今年はコロナウイルス感染予防対策につき、開催できていない。	コロナ禍の情勢を踏まえ開催し、民生委員や地域包括支援センター職員、保健福祉課担当者の参加があり意見交換を行っている。現在当面の間は感染症対策のため、月の便りを基に事業所の取組みや行事などの活動報告を書面にて各関係者へ送付し周知を行っている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	福山市北部支所、担当職員とは相談事、アドバイス等、常に連絡が取れるように、また顔なじみの関係が密に取れるように出向いている。運営推進会議には担当職員の参加もあり、お互いの関係が築けている。市や地域包括支援センターが主催する研修にも積極的に参加している。	市の担当者へは日常から確認事項や相談を適宜行い、運営推進会議では担当職員と意見交換を行っている。地域包括支援センターへも便りを持参し顔の見える関係に努め、利用相談があるなど日常的に関係性を構築している。生活保護では福祉課担当者とも連携し支援している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	私たち職員は、人が見ている時も見ていない時も、いつも変わらない対応と援助、入居者ひとり一人の当たり前の生活、心身の状態や希望に沿った支援を行う。介護に携わる全ての従業員に対して身体拘束の廃止の意識を高め、防止につなげている。	虐待防止委員会を毎月開催し、その中で身体拘束防止について併せて検討を行っている。会議内容はミーティングや議事録で確認し職員全員で周知し統一して実践している。2か月に1回チェックリストを実施し、自身のケアを振り返ると共に全体の傾向を把握し予防の意識を高めている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に一度虐待防止委員会を開催し、その中で全事業所が集合し、討論会を行っている。日常ケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修を行い周知し、虐待の意識を高め防止につなげている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされ使用されている入居者の方はおられる。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望などについて、事業所で対応出来る事出来ない事について、必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い、納得された上で利用して頂いている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者の日頃の様子を汲み取り、家族には担当職員が家族に電話やお便りで様子を伝えている。家族からは面会時や、年3回の家族会開催時、アンケートを実施して、家族からの要望・意見を聞き繁栄に繋げている。また、希望に沿えるよう協力している。	利用者へは日々の関わりから思いを汲み取っている。家族会を季節の行事に併せて年3回実施し一緒に交流を持ち意見を聴く場として活用している。毎年アンケートも実施し意向や思いの把握に努めている。面会についての要望に検討し、少しずつ面会が行えるようになった。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全事業所が集合し管理者会議を行い、また主任会議、各ユニットミーティングの中で、意見交換や提案などを話し合う場を設けている。管理者、主任との個人面談や相談事、ストレスのないよう話しやすい場を設けている。また、無記名でアンケートなども取っている。</p>	<p>ユニット会議で意見交換を行い適宜の検討がなされ、主任会議や管理者会議でもそれぞれにあがった意見を検討し改善や実施に繋げている。個人面談も適宜行うことや無記名でアンケートを行うなど、職員が思いを表出しやすい環境作りにも努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>それぞれのスタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し、スキルアップをし、自己を高めてもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>講師派遣による研修会や勉強会、市が開催している相互研修会へ参加している。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居者の事前情報などで現場のスタッフとも安心して要望が言い合えるような関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように、家族の思い、心配事などを気軽に話してもらえような関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の要望と事業所の出来る出来ない事を話し合いすり合わせ、要望に答えられないような場合は、要望に沿えるようなサービスの紹介をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者様主体の生活を実践するために、スタッフは入居者様の要望をかなえる為に存在している事を意識し、入居者様との関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所で何でもしてしまうのではなく、家族が参加出来る事には極力参加していただき、あくまでも本人様と家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートしていくように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>現在は、外出やドライブなどはコロナウイルスによりできていないが、普段では受診時に寄り道したり、近くのスーパーで買物をし、レジの方と談話したり、以前からの友人の訪問や訪問美容など、馴染みの関係が途切れないよう、継続できるよう努めている。</p>	<p>利用開始時に生活背景を家族から確認しアセスメントにまとめ把握を行っている。近所のスーパーでの買い物は馴染みである他、自宅に帰ることや電話や手紙でのやり取りの継続、読書の好きな方には本を読むことができる支援を行うなど本人の馴染みを理解し繋いでいくことに努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>気の合う同士は日頃から談話をしたり楽しまれている。単独行動が多い方には不満が出ない程度に他の方と交流が出来るようにスタッフが中立をしたりして、入居者同士が楽しみながら生活ができるような関係作りをしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退去された家族の方へ年賀状やお手紙を出して、お互いの近況を共有している。長期入院し退去になられた方のお見舞いや逝去された方の葬儀にも参列をしている。</p>		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者様の思いや意向を把握しやすい入浴時や食事時、何気ない会話の中から汲み取り、職員間で話し合い連携を取っている。把握が困難な入居者様にはゼスチャーを交えながら把握に努めている。</p>	<p>日々の関わりから利用者の思いや意向を汲み取り確認している。得られた情報はライフチャート(個人記録書)や申し送りノートにて職員全員が共有し即座に検討や毎月のミーティングで話し合いがなされている。表現の難しい方へもゼスチャーを交えたり、家族に確認し把握に努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>日常の会話や面会された面会された家族の方から情報を得ている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>夜勤者から夜間の申し送りや、ライフチャート(記録書)などでその日の生活状態を確実に把握し、全スタッフが共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>3ヶ月に一回担当者会議含め職員全員でモニタリングを行い、本人家族の意向意見を踏まえてチームでの介護計画書を作成している。身体状態の変化があった時には、その都度介護計画書の見直しを行なっている。(作成日をそろえている)</p>	<p>本人や家族の意向を踏まえ、ライフチャートや共有ノートの情報などをミーティングで共有し全員の意見を踏まえ計画作成している。生活背景や個人因子、本人のできることに視点を注ぎ検討を行い、利用者の活動性を引き出せる計画が立案され日々実践されている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>時系列に沿った生活記録(ライフチャート)を利用し、こまめな記録と勤務交代時の申し送りなどで情報の共有をしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度本人、家族、事業所で話し合い、可能な限り実現出来るように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の祭りや、文化祭、運動会見学、催しなどの行事に参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>事業所の協力医療機関がかかりつけ医となり、月に一度全体往診、個人の往診、緊急時の往診を行なっている。専門医受診以外はすべて往診でまかなわれており、専門医受診の際は家族の協力を得ながら行なっている。</p>	<p>利用開始時に主治医は協力医に変更をお願いしており、毎月の往診をはじめ、状態変化や緊急時には随時往診が可能としている。歯科往診もあり、専門医への受診も家族の協力を得ながら支援している。事業所の看護師とも連携を取りながら安心して健康管理が受けられる体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医療機関の看護師に、何時でも相談できる体制が整っており、気になる事、些細な事でも相談が出来るようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中の経過を取り合い、病院との関係を密にし、少しでも早期に退院できるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時にアセスメント作成し、重度化(看取り)に関する指針で確認を行っている。見取りについて医療機関と連携を取りながら医師、家族、関係者とカンファレンスを行い、家族と連携を密にし医師の確認を行っている。職員間で勉強会を重ね看取りについてマニュアル作成し、日頃から周知している。</p>	<p>利用開始時に重度化した場合、看取りの指針を説明し同意を得ている。昨年からも5件の看取りを実践しており、状態変化により判断される時に本人や家族の思いを基に、医師や家族、関係者と職員でカンファレンスを行いチームとして密な関わりにて支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時のマニュアルを準備している。定期的に全スタッフが救命救急講習を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回、4月(日中)、11月(夜間)想定火災に対する訓練を行っている。以前は、すべて消防署立会いの下に行われていたが、現在は消防署に連絡を取るだけと決められている。地域水害時の避難場所、避難所の確認は認識している。備蓄品は3階のユニット内に必要な物を備蓄している。また、近隣の方とのイベントも計画している。</p>	<p>避難訓練は年2回実施している。その内1回は夜間想定にて行っている。避難所の確認もしている他、事業所内には緊急連絡簿を掲示し通報事項もまとめられており、いつ誰でも行えるように整備が整えられている。備蓄も1週間分を3階に配備し、期限も管理しながら備えている。</p>	



自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様の居室に入る際は、声掛けを行い、一緒に部屋に入るようにしている。トイレの声掛けにしても言葉を選んで周りにも配慮した声掛けをしている。色々な面で、入居者様の目線に立ち、声掛けに配慮している。	個人の尊厳について毎年研修し理解を深めている。自分がされて嫌なことはしないことや目線を合わせ接することを重視し、根拠に基づいた指導を徹底している。日常のケアの中で声掛けの内容がおかしいと気付いた時には職員同士お互いに注意し合うことができる関係を築いている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中で、入居者様の要望を少しでも多くくみ取れるように努め、本人の思いが言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフに対して、入居者様の希望を知ったら直ぐに実行できるように、どうすれば実行出来るのか考えるようにという意識付けの下支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	パーマをかけたい、髪染めをしたいなど、出掛けなくても希望に何時でも訪問美容にお願いが出来るようにしている。その日に着る服も入居者様といっしょに選んでいる。身につけたい物がある時は、家族に連絡して協力を得ている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	平日の昼食は厨房内で提供されているが、朝夕、日曜日、祭日は各ユニットで手作りしている。入居者様と料理本を見てメニューを考えたり、目で見て舌で味わってもらえるよう季節の料理を組み入れている。おやつも手作りし、お正月はおせち料理、色々なイベントも手作りしている。今はできないが、外食もたのしみとなっている。	平日の昼食は併設デイサービスの食事と一緒に厨房で調理されるが、朝夕や日曜日は各ユニットそれぞれに手作りで提供している。朝はパン食を交えたメニューとし、旬な食材を取り入れる他、調理レクや季節の料理も適宜に交え、目で見て味わえる食の楽しみを創出している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食時量水分量は、記録を見て全スタッフが把握出来るようにしている。食べれない時には、食べれる物を少しずつでも食べてもらえるような援助をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声掛けを行い、介助が必要な方には介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>ひとり一人の排泄チェック表で把握し、職員間で話し合いを行い、排泄パターンを確認している。個別に声掛けを行う事で、おむつを使用している人はほとんどおられない。トイレ誘導にて排泄の感覚や実感を持たせ、個人の排泄感覚を整えていくことでオムツからリハビリパンツへや布パンツへ移行ができたなど実践を行っている。</p>	<p>できるだけ座位の姿勢で排泄が行えることを基本として支援している。ライフチャートで個人の排泄パターンを把握している。都度声掛けにてトイレへ誘導し、排泄感覚を養い、自分でできる部分はしてもらいながら自立へ繋がる支援となるように努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し、個別の状態により医師の指導のもと、下剤の調整や医師による浣腸を行っている。予防として水分摂取量に気を付けたり、腹部マッサージ運動などを取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>各ユニットごとに浴室があり、入浴時間にこだわらず、入居者様それぞれの意向に合わせて実践している。色々な種類の入浴剤を入れることで季節感を味わって頂いている。毎日入浴される方もおられ、また入浴拒否の方には時間を置いたり、声掛けにも工夫し決して無理強いをしない支援を行っている。</p>	<p>週2回の入浴を基本とし、ユニット毎に時間は異なり利用者の意向や生活習慣に合わせて時間を調整している。入浴日でも入りたくないなど本人の意向がある時は、時間を置いたり声掛けの工夫など無理強いせず気持ちに寄り添い支援を行っている。入浴剤や季節の柚子湯も時期により実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間、起床時間に決まりはなく、入居者様のリズムで生活を送られている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方箋を各入居者様のカルテに閉じてあり、何時でもスタッフが早急に確認できるようにしている。往診、受信時に聞いた注意事項に関しては、往診受診ノートに記入し全スタッフが薬についての確認が出来る体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>現在はコロナで出来ていないが、いつもならひとり一人の好みに合わせて買い物、外食ショッピング等の趣味活動が出来るようにしている。また日常の家事など手伝ってもらった場合などにはスタッフが感謝の気持ちを伝え、張り合いの持てるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気候の良い時期3～11月までは月一回の外出支援を行っている。道の駅、菊人形、紅葉狩りや散歩など外の空気に触れる事でそれぞれの季節を感じて頂けるよう支援している。毎日の買い出しのお供なども季節を感じて頂ける支援と考えている。散歩のついでにごみ拾いや草取りもしていたが、コロナの為今は出来ていない。</p>	<p>コロナ禍であり外出など難しい状況下であるが、日常近所の土手を散歩したりと外気に触れ、気分転換をしている。以前では毎日の買い物をはじめ、ドライブや紅葉狩り、道の駅に行くなど様々に外出行事を企画し実施していた。家族の協力も得ながら外食も楽しんでいた。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>入居者様の個人での金銭管理はしていない。家族の方からお預かりしたお小遣いは、各ユニットごとのきんこで管理し使いたいときには何時でも出せるようになっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>特に制限はない。入居者様がかけたいときやお手紙を出したいときにいつでも可能にしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間に入居者様の作品や写真、庭に咲いた季節ごとの花を飾り明るい空間を作り、リビングルームの中のソファでゆっくりくつろげるようにしている。入居者様と一緒に整理整頓も行き、環境問題も行き届き作品作りや洗濯たたみ等の活動する場所となっている。</p>	<p>室内は採光も良く明るい空間であり、利用者の作品や写真が飾られ、庭に咲いた花や職員が持参する花が生けられ和やかに過ごせるよう配慮している。天気の良い日は中庭でお茶を飲んだり、陽当たりのいい場所にソファを配置しゆったり過ごすことができるようにしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングのなかの様々な場所にテーブルやソファがあり、好きな場所で過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に、本人の大切にしている調度品や仏壇等を持ち込まれている。また家族やお孫さんの写真等も飾られている。今まで住まれていた自宅で過ごされているような気分で、その人らしく生活されている。</p>	<p>ベッド、カーテン、収納は備え付けであり、大切な物や馴染みの物、調度品を自由に持参できる。作品や家族写真なども飾られたりと利用者それぞれに和め落ち着ける環境とし、自分らしさを持ち過ごせるよう整えている。寝る時の向きや癖を考慮した配置を行うなど工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各入居者様の個室、お風呂やトイレ等分かりやすいように工夫している。</p>		

V アウトカム項目(こもれび) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を事務所に貼り、スタッフ皆がいつでも見えるようにしている。年間目標を掲げて目標が達成できるように意識している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	以前は、入居さんと一緒にスーパー(ハローズ等)へ、食材を買いに行っていたが、現在はできていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	外に出る機会を設けて、認知症の方でも色々なことが出来るということを理解してもらいたいと思うが、今はできていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、開催できるように努めていたが、昨年度よりコロナ禍のため運営推進会議を開催することはできていない。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。		

自己評価	外部評価	項 目( かがやき )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、拘束をしないケアに徹している。どのようなことが身体拘束になるのかをスタッフに周知する必要がある。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、虐待に対する意識を高め防止に努めている。主任は、不適切なケアに繋がるような行為があった時は、注意を促している。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	本人の希望、家族の希望等について、事業所では対応出来る事、出来ない事等について契約時に限らず、必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い、納得した上で利用してもらっている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事を契約時に限らず、必要なときに家族、本人と事業所が確認し合い納得した上で利用してもらっている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	昨年度よりコロナ禍のため、家族会を開催することができていない。直接ご家族様からの意見や要望を聞くことはできていない。		



自己評価	外部評価	項 目( かがやき )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	主任会議、各ユニットでのミーティングの中で意見や提案等を話し合う場を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	今は、できていない。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の事前訪問などで、現場スタッフも安心して要望が言えるような関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項 目( かがやき )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように家族の思い、心配ごとなどを話してもらえようような関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事をすり合わせ、要望に答えられない場合には要望に沿えるようなサービスを紹介している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者さん主体の生活を実践していく為にスタッフは入居者さんの要望を叶える為に存在していることを意識し、入居者さんと暮らしを共にする関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所がすべてしてしまうのではなく、家族が参加出来る時には参加してもらい本人と家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートするように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>手紙や電話などを使い関係が途切れないように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う同士で好きにしている。単独での行動が多い方には不満が出ない程度に他の方と交流が出来るようにスタッフが仲立ちしたりし、入居者さん同士が楽しみながら生活でき交流できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	亡くなられた方への葬儀に参列している。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの要望を把握し、どうしたら実践できるかをいつも考え実行している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常での本人の会話、面会時の家族との会話で情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ライフチャートや申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目( かがやき )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ライフチャートや申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ミーティングで話し合ったり、ライフチャートを利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送り等で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い、可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>以前は、地域の祭りや催し物の行事へ参加していたが今は、できていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>何かあればいつでも相談受診できる体制になっている。事業所の協力病院以外でも本人、家族が希望するかかりつけ医を利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( かがやき )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>協力病院の看護師さんに、いつでも相談できるように体制が整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には病院との連携を蜜にし、すこしでも早期に退院できるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族、医師、事業所で話し合う機会を設け、事業所でできることを本人と家族の要望をすり合わせながら最期まで生活できるように支援している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時のマニュアルを準備している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の職員指導の下に避難訓練を定期的に行っている。災害時の地域との連携はとれていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	各ミーティング、社内研修などを利用し入居者さんの尊厳を尊重するケアの重要性話し合い、実行している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、入居者さんの要望を少しでも多く汲み取るように努め、本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフは、入居者さんの希望が分かったら即実行できるか考えるように、意識付けの元で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者さんと相談して、その時に着る服を選ぶようにしている。訪問美容室を利用して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理時には、入居者さんの出来るところを担当してもらい、入居者さん、スタッフが一緒にすることを大事にしている。		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握出来るようにしている。個々の状態に応じて食べれない時には食べれる物を少しずつ食べて頂くよう援助している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声掛けを行い介助が必要な方にはスタッフが誘導して行っている。入れ歯が合わなくなったり、口腔に異常がある方には訪問歯科にお願いし、診てもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、一人一人に合わせた援助を心掛けている。トイレに行きたいと言われたら、すぐに対応している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個々の状態により医師の指導の下、下剤の使用行っている。予防としては、水分摂取量に気をつけたり、便秘に良い食事を考えたり、腹部マッサージ等を取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一日3人ずつ、入ってもらっている。一週間に2回は必ず、入れるようにしている。安全に入浴できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( かがやき )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>就寝時間、起床時間は特に決ま りはないが、入居者さんのリズ ムで生活して頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>処方箋説明書をいつでもスタッ プが確認できるようにしている。 往診、受診時に聞いた注意事 項に関しては、往診ノートに記 入するようになっており、全ス タッフが薬についての確認が 出来る体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの好みを理解して、 得意なことを生活に生かせる ように心がけている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>昨年度からのコロナ禍により、 外出はできていない。家族、 スタッフとの外食、お墓参り等 、今までできていたことができ るように努めていきたい。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>各個人での金銭管理はしてお らず、各ユニットの事務所に 金庫を設け管理しているが、 使いたい時に使えるように している。</p>		



自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	好きな時に電話をしたり、年賀状を書いたりしている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	季節の花を飾ったり季節ごとにユニット内の飾りを変えたりと季節感が味わえるようにしている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	リビングの中の様々な場所にテーブルやソファがあり、好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	使い慣れた家具等を持ち込んでもらっている。家族の写真や自分で作った作品等を飾っている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	各入居者さんの個室、トイレ等わかりやすいように表示している。		

V アウトカム項目( かがやき ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

理念をユニット内に貼	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念をユニット内に貼り、スタッフみんながいつでも見えるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	近所のスーパーに食料の買い出しを入居者さんと一緒に行っているが、現在はコロナ禍の為おこなえていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所の案内掲示板を利用し、入居者さんの作品などを張り出したり各グループの掲示板にも絵や写真を飾っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催し、ケアマネージャー・主任が参加し参加された方々で意見交換を行い、グループ内で取り上げ実践している。また、その時期ごとに勉強会なども行なっているが、現在はコロナ禍の為おこなえていない。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日頃の不明点などは、市の担当者へ相談し連携をとっている。		

理念をユニット内に貼	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日頃のケアの中で主任を中心にミーティング・勉強会・研修等の中で周知し拘束のないケアを徹している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に一回虐待防止委員会を開催し、前事業所が集合し話し合いを行なっている。日常ケアの中で主任を中心にミーティング・勉強会・研修の中で周知し虐待の意識を高め防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	活用されている入居者の方がおられる。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望などについて、事業所で対応出来る事、出来ない事項について、必要な時に家族や本人と事業所が確認を行い、納得した上で利用していただいている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年に2回(春・秋)家族会を開催し、その中で家族と話し合いの場を設けており、家族へのアンケートを実施している。面会時には日頃の様子をお伝えしている。サービス担当者会議では、家族の方からご要望をお聞きするようにしているが、現在はコロナ禍の為おこなえていない。		

理念をユニット内に貼	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全事業所が集合し、管理者会議を行いまた主任会議・各ユニット内でもミーティングの中で意見交換や提案等と話し合う場を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>それぞれのスタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行なっている。法人内の勉強会を開催している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>講師派遣による研修会や勉強会、包括支援センターが開催している相互研修会へ参加しているが、現在はコロナ禍の為おこなえていない。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の事前情報などで現場のスタッフとも安心して要望が言い合えるような関係作りにも努めている。</p>		

理念をユニット内に貼	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるよう、家族の思いや心配なことなどを話していただけるような関係づくりをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>担当者会議時に本人・家族の要望と事業所の出来る事、出来ないことを話し合い、すり合わせ、要望に答えられないような場合は要望に添えるようなサービスを紹介しているが、現在はコロナ禍の為おこなえていない。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様主体の生活を実践するためにスタッフは入居者さんの要望を叶える為に存在していることを意識した入居者さんとの関係づくりをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所で何でもしてしまうのではなく、家族が参加出来る事には極力参加してもらいあくまでもほんにんと家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートしていくように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>お墓参りの外出や外泊などを家族の協力を得ながら行っている。また入居者さんの行きつけのショップに行ったり馴染みの美容室の訪問などしていただき関係を継続しているが、現在はコロナ禍のために実施できていない。</p>		

理念をユニット内に貼	外部評価	項 目( せせらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う同士は日頃から談話をしたり楽しまれている。単独行動が多い方には不満がでない程度に他の方と交流できるようにスタッフが中立ちをして、入居者同志が楽しみながら生活できるような関係作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された家族の方へ手賀状やお手紙を出している。長期入院し退去となられた方へ入居者さんとお見舞いに行ったり、亡くなられた方の葬儀に参列をしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	食事や入浴で接することの多い際、会話から入居者の意向や希望を聞き把握している。意思疎通の難しい入居者には日常生活での表情、仕草及び入居開始時の情報把握に努め全スタッフが情報を共有し入居者本位の支換の検討に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常の会話や面会された家族の方から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	夜勤者から朝の申し送りや、ライフチャートなどでその日の生活状態を確実に把握し全スタッフが共有できるようにしている。		



理念をユニット内に貼	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者などの意向を踏まえた計画を計画担当者が作成し、関係者全員で計画に沿ったサービスが提供できるようにしている。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	時系列に沿った生活記録（ライフチャート）を利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送りなどで情報の共有をしている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その都度、本人、家族、事業所で話し合い可能な限り実現できるように取り組んでいる。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の行事（祭り、文化祭等）に参加しているが、現在はコロナ禍のために参加できていない。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医が定期的に往診しており、入居者、家族希望で馴染みのかかりつけ医を選ぶこともできる。		

理念をユニット内に貼	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院の看護師にいつでも相談できる体制が整っており、気になる事、些細なことでも相談にのってもらっている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の経過を取り合い病院との関係を密にし少しでも早期に退院できるようにしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	できるだけ早期から話し合いの機会を作り、方針の統一を図りながら事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえてチームで取り組んでいる。入居者や家族のニーズをくみ取りながら体制を整えていく努力もしている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを準備している。定期的に全スタッフが救命救急講習を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得ながら火災、地震、水害など各災害に備え昼、夜いつでも入居者が安全に避難できるよう年2回避難訓練を行っている。		

理念をユニット内に貼	外部評価	項 目( せせらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	居室への入室の同意を得たり、入居者の呼称、声かけトイレ誘導など日頃の支援の中で一人ひとりを尊重しプライバシーに配慮するようスタッフで意識し対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中で入居者さんの要望を少しでも多くくみ取れるように努め本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフが入居者さんの思いを知った時点ですぐに実行できるようにどうすれば実現可能か考えるようにという意識付けの支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	パーマをかけたい髪を染めたい等入居者さんの希望に沿えるようにしている。またその日に着る服も入居者さんと相談して選んでいる。身につけたい物がある時には家族に連絡し協力を得ている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食材の購入、調理の下準備、可能な食事準備、後片付けなどを入居者の方と一緒にしている。また入居者さんの希望するメニューを取り入れたり外食に出かけるなど楽しい食事になるよう工夫し支援している。		

理念をユニット内に貼	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握できるようにしている。食べられない時には食べられる物を少しずつでも食べてもらえるような援助をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声かけを行い介助が必要な方には介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>入居者一人ひとりの自尊心に配慮し排泄習慣、排泄チェック入居者の表情から個別の状態に応じた排泄支援をしており自立につなげている。またおむつからリハパンへとおむつはずしも実行している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個別の状態により医師の指導の元、下剤や浣腸の使用を行っている。予防としては水分摂取量に気をつけたり腹部マッサージ運動などを取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者一人ひとりの習慣や希望を把握しそれを活かしながら本人と家族の安心と満足、スムーズで安全な入浴、体調の改善、入浴面での本人の力の発揮などにつなげている。</p>		

理念をユニット内に貼	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間、起床時に決まりではなく入居者さんのリズムで生活をされている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方箋を各入居者さんのカルテ閉じてありいつでもスタッフが確認できるようにしてある。往診受診時に聞いた注意事項に関しては往診受診ノートに記入し全スタッフが薬についての確認ができる体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>定期的に外食の企画を立案し買い物、外食等の趣味活動ができるようにしている。日常の家事など手伝ってもらった場合などにはスタッフが感謝の気持ちを伝え張り合いの持てるようにしているが、現在はコロナ禍のため行えていない。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>入居者の希望に応じて散歩、買い物、外食に出かけたり通院時を利用したドライブや馴染みのパン屋さんなどにできるだけ実行できるよう支援しているが、現在はコロナ禍のために行えていない。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個人での金銭管理はしていない。家族の方から預かったお小遣いは各ユニットの金庫で管理しているが使いたいときにはいつでも出せるようになっている。</p>		

理念をユニット内に貼	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	特に制限はない。入居者がかけたいときにいつでもかけられるようになっている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間入居者の共同作品や写真、季節の花などがあり明るい雰囲気がある。整理整頓が行き届いており入居者が作品作りや洗濯畳などの活動する場所となっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングの中のさまざまな場所にテーブルやソファがあり好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には馴染みのものを持ち込んだり仏壇を置かれる方もおられる。入居者の作品、季節の花など思い出の物でその人らしく暮らせる部屋となっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各入居者さんの個室、お風呂トイレなどわかりやすいように工夫している。		

V アウトカム項目( せせらぎ ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない



(様式2)

## 2 目標達成計画

事業所名 グループホームかざぐるま

作成日 2021年12月27日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に対して共有部分にバラツキがある。	スタッフ全員が日々、理念に立ち返り同じ目標に向かい業務を行う。	ロッカー等、必ず目に付く所に理念を書いた紙を貼り仕事前に見て仕事をするようにする。	3ヶ月
2	12	重度化や終末期に向けた共有と支援。	看取り介護の理念や流れ、関わり方をしっかり学び看取りケアにあたる。	定期的な研修を行う。	6ヶ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。